

足の血管が詰まる病気（ASO と ALI）の解説

患者様の不安を解消するために：「じわじわ詰まる慢性」と「突然詰まる急性」の違い

最近よく耳にする「足梗塞（あしこうそく）」とは？

テレビやニュース等で行われる「足梗塞」とは、専門的には足の動脈が詰まる病気（下肢閉塞性動脈疾患）をわかりやすく表現した言葉です。脳梗塞や心筋梗塞のように、「ある日突然、誰にでもすぐ足が腐ってしまう」というわけでは**ありません**。足の詰まり方には、何年もかける「慢性（ASO）」と、急に起こる「急性（ALI）」の2種類があります。正しく知ることによって、過度な心配をする必要はなくなります。

① ASO

閉塞性動脈硬化症

(へいそくせいどうみゃくこうかしょう)

■ どんな病気？

タバコ、糖尿病、高血圧などが原因で、何年もかけて**じわじわと血管が狭くなっていく**、お年寄りに多い病気です。すぐに足が腐ることはありません。

■ 注意すべき症状

- ・初期：足が冷たく感じる、しびれる。
- ・中期：しばらく歩くとふくらはぎが痛くなり、少し休むとまた歩けるようになる（一番多い症状です）。
- ・末期：じっとしていても足が痛むようになる。

【イメージ】何年もかけて狭くなる



② ALI

急性下肢虚血

(きゅうせいかしきょけつ)

■ どんな病気？

心臓などから血の塊（血栓）が流れてきて、足の血管を**突然スポッと完全に塞いでしまう**病気です。さっきまで元気だったのに突然起こります。

■ 突然起こる「6つの赤信号」

- ・① 疼痛：突然の激しい痛みが走る
- ・② 蒼白：足がみるみる真っ白になる
- ・③ 脈拍消失：足の甲の脈がふれなくなる
- ・④ 知覚鈍麻：触られてもわからない
- ・⑤ 運動麻痺：指や足首が動かさない
- ・⑥ 冷感：氷のように冷たくなる

【イメージ】突然完全に詰まる



🚨 この「急なサイン」はすぐ病院へ！

6～8時間以内に治療しないと組織が死んでしまいます。速やかな受診（救急車）が必要です。

ASO と ALI の違いまとめ

比べるポイント	① ASO (ゆっくり慢性)	② ALI (突然急性)
詰まるスピード	何年もかけてゆっくり	「突然」一瞬で詰まる
主な原因	血管の動脈硬化（生活習慣病による汚れ）	心臓などから流れてきた血の塊（血栓）
いちばんのサイン	歩くとふくらはぎが痛くなる、休むと治る	突然の激痛、足が真っ白、感覚がない
血管のまわり道	時間をかけて自然に作られている	まったくない（間に合わない）
お医者さんの対応	外来で様子を見ながら、お薬やカテーテル	数時間以内に詰まりを取る緊急手術！